



2025年3月期 第1四半期 決算概要

シスメックス株式会社
2024年8月6日

Together for a better
healthcare journey

開示区分の変更について

報告セグメントの変更点

1. 報告セグメントを「所在地別」から「統括会社別」に変更
※IFRSが要請するマネジメントアプローチとの整合性の向上
2. ロシアを管轄する統括会社をEMEAからアジア・パシフィック（AP）へ変更

開示区分の変更による主な影響

変更影響のある主な資料および箇所		報告セグメント変更 (所在地→統括会社)	ロシアの統括会社変更 (EMEA→AP)
有価証券報告書 決算短信	セグメントP/L	変更あり	変更あり
	地域別売上高	—	変更あり
Financial Data	セグメントP/L	変更あり	変更あり
決算プレゼンテーション Financial Data	地域別売上高	—	変更あり

Index

1. エグゼクティブサマリー
2. 2025年3月期 第1四半期 決算概要
3. 成長戦略の進捗と取り組み
4. 2025年3月期 業績予想

(補足資料)

- ・ 2025年3月期業績予想（事業・分野別・地域別売上高）
- ・ XR™シリーズ（ヘマトロジー分野）導入スケジュール
- ・ サステナビリティ目標 2024年3月期実績

- ・ 当社グループは、2017年3月期より国際会計基準（IFRS）を適用し、IFRSに準拠して開示しております。
- ・ 2022年3月期に、クラウド・コンピューティング契約におけるコンフィギュレーションまたはカスタマイゼーションのコストについて、サービスを受領したときにそのコストを費用として認識する方法に変更しています。
- ・ 本資料のうち、売上予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

1. エグゼクティブサマリー

第1四半期実績

過去最高の実績、増収増益を達成 売上高・営業利益・四半期利益ともに大幅伸長

- 売上高 : 117.4%
 - 営業利益 : 126.1%
 - 四半期利益 : 128.0%
- 海外地域におけるシェア拡大や検査需要増加などにより、試薬が大幅伸長
 - 日本のメディカルロボット事業の伸長もあり、全地域で増収を達成、ビジネスは好調に推移

2025年3月期 業績予想

**第1四半期は想定とおりに進捗、上期・通期業績は計画達成を見込む
成長戦略に基づき各地域の施策を進め、グループの2桁成長を達成**

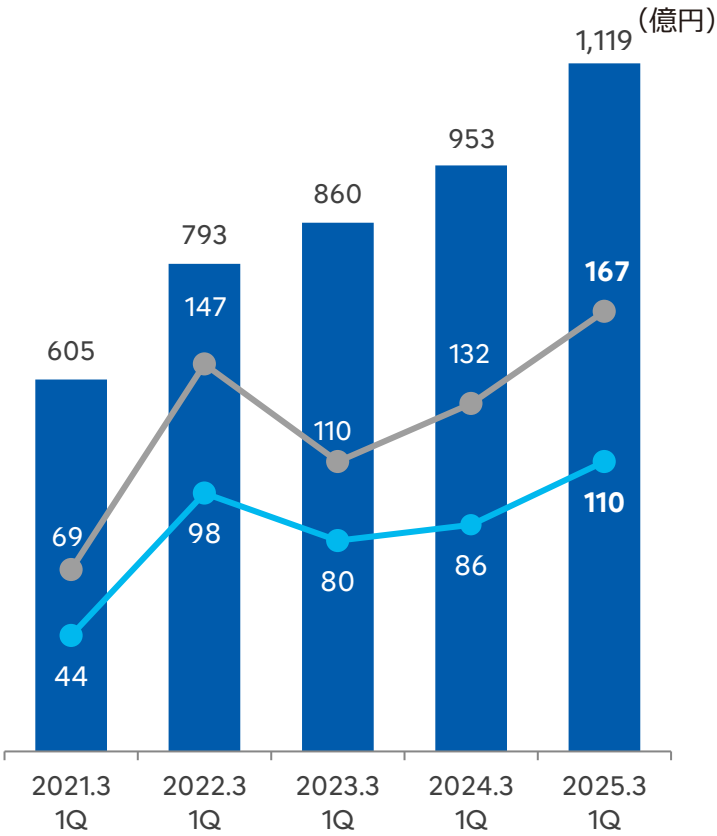
2. 2025年3月期 第1四半期決算概要

決算総括（対前年）



(億円)	2025年3月期1Q		前年同期		前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	1,119.4	100%	953.5	100%	117.4%
売上原価	519.0	46.4%	449.4	47.1%	115.5%
販売費及び一般管理費	360.1	32.2%	301.4	31.6%	119.5%
研究開発費	73.5	6.6%	71.3	7.5%	103.1%
その他の営業損益	0.7	0.1%	1.4	0.2%	51.7%
営業利益	167.4	15.0%	132.7	13.9%	126.1%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	110.3	9.9%	86.2	9.0%	128.0%

- **売上高** : APが2桁伸長するなど全地域で増収、過去最高を達成
- **営業利益** : 販管費は増加も、原価率改善および増収により大幅増益、過去最高を達成
 - ✓ **為替の影響** 売上高 +92.1億円、販管費 +27.1億円、営業利益 +23.8億円
 - ✓ **前年同期為替レート適用の場合** 売上高 107.7%、販管費110.5%、営業利益 108.1%
- **四半期利益** : +28.0%の増益 為替差損益 : +13.8億円（前年同期比+5.2億円）

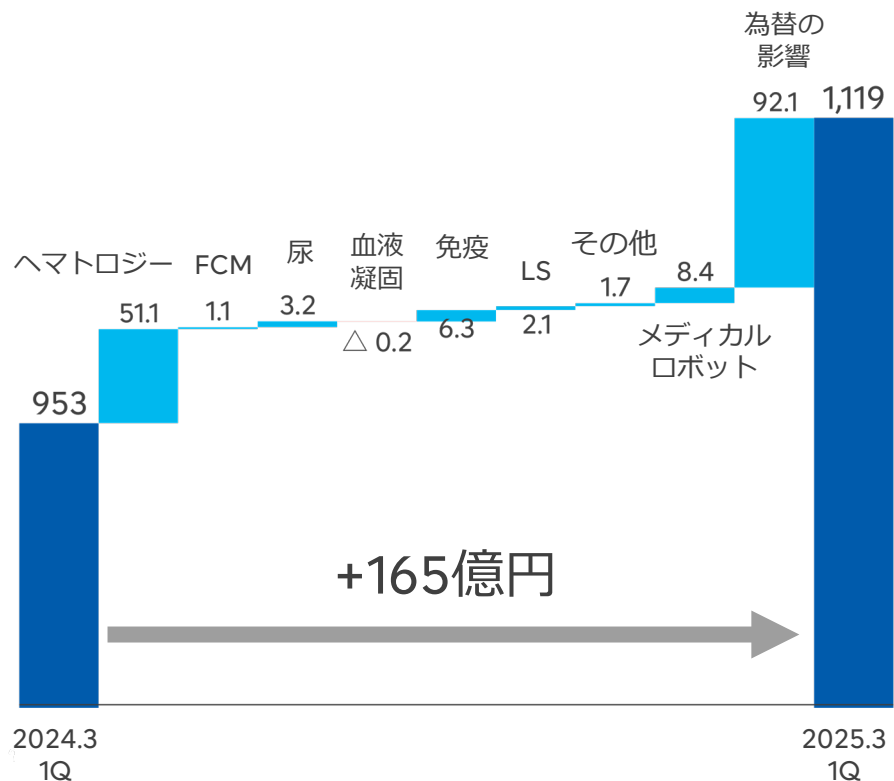


	2025年3月期1Q	前年同期
1USD	155.9円	137.4円
1EUR	167.9円	149.5円
1CNY	21.5円	19.6円

売上高の増減要因（事業別・分野別）

事業別・分野別売上高

（億円）



COVID-19関連検査（ライフサイエンスと免疫およびその他に含まれる）

2025.3期1Q：4.2億円（国内のみ）

参考 2024.3期1Q：4.7億円（国内のみ）

XRシリーズの効果や新興国の伸長などでヘマトロジー分野が好調に推移

（億円）	2025年3月期1Q		前年同期比	
	実績	構成比	円ベース	為替影響を除く
売上高	1,119.4	100.0%	117.4%	107.7%
ヘマトロジー	706.5	63.1%	119.2%	108.6%
FCM	8.2	0.7%	128.4%	117.4%
尿	89.2	8.0%	114.8%	104.1%
血液凝固	146.0	13.0%	106.9%	99.8%
免疫	46.6	4.2%	122.5%	116.5%
生化学	8.7	0.8%	110.5%	105.4%
ライフサイエンス	52.3	4.7%	113.5%	104.5%
その他	50.2	4.5%	112.1%	103.0%
ダイアグノスティクス事業	1,108.0	99.0%	116.6%	106.9%
メディカルロボット事業	11.3	1.0%	389.7%	389.7%

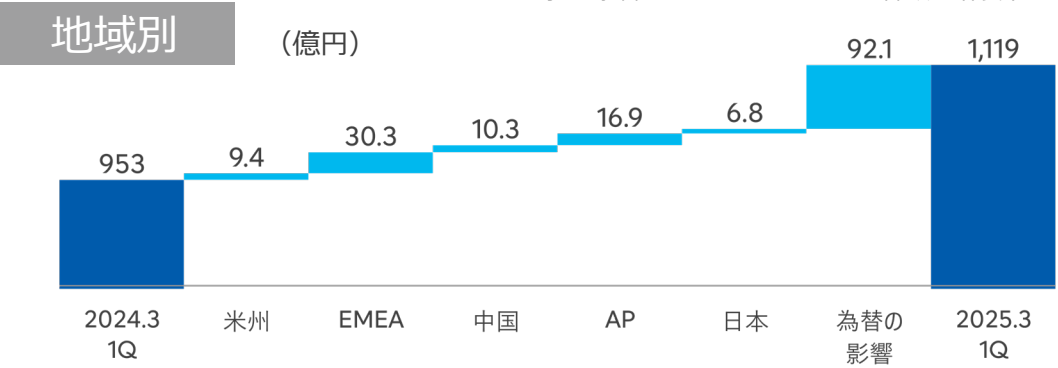
売上高の増減要因（地域別・品目別）



試薬売上が2桁伸長し、グループの成長をけん引

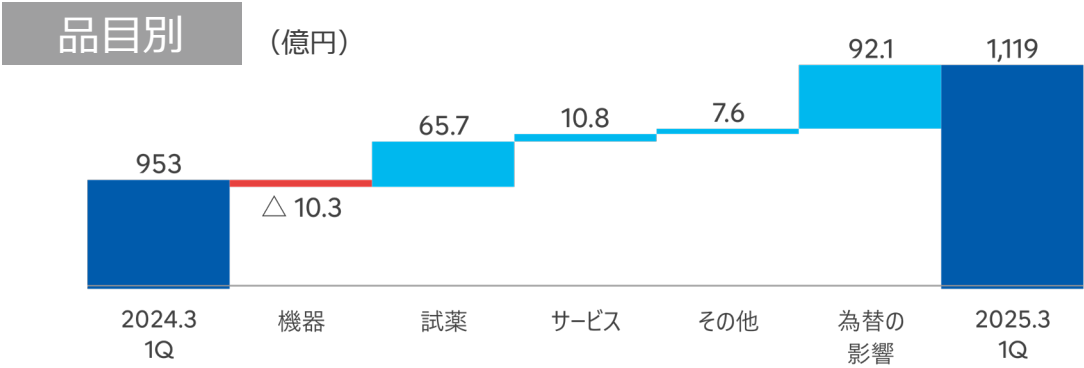
(億円)	2025年3月期1Q		前年同期比	
	実績	構成比	円ベース	現地通貨ベース
売上高	1,119.4	100.0%	117.4%	107.7%※
米州	316.3	28.3%	117.1%	103.2%
EMEA	347.2	31.0%	120.7%	107.4%
中国	195.2	17.4%	116.7%	106.3%
AP	123.4	11.0%	126.0%	117.3%※
日本	137.1	12.3%	105.2%	-
機器	208.1	18.6%	103.7%	94.8%※
試薬	707.7	63.2%	120.8%	111.2%※
サービス	161.9	14.5%	119.2%	108.0%※
その他	41.5	3.7%	133.7%	124.5%※

※為替の影響を除いた円貨ベースの前年同期比伸長率



地域別の主な増減要因

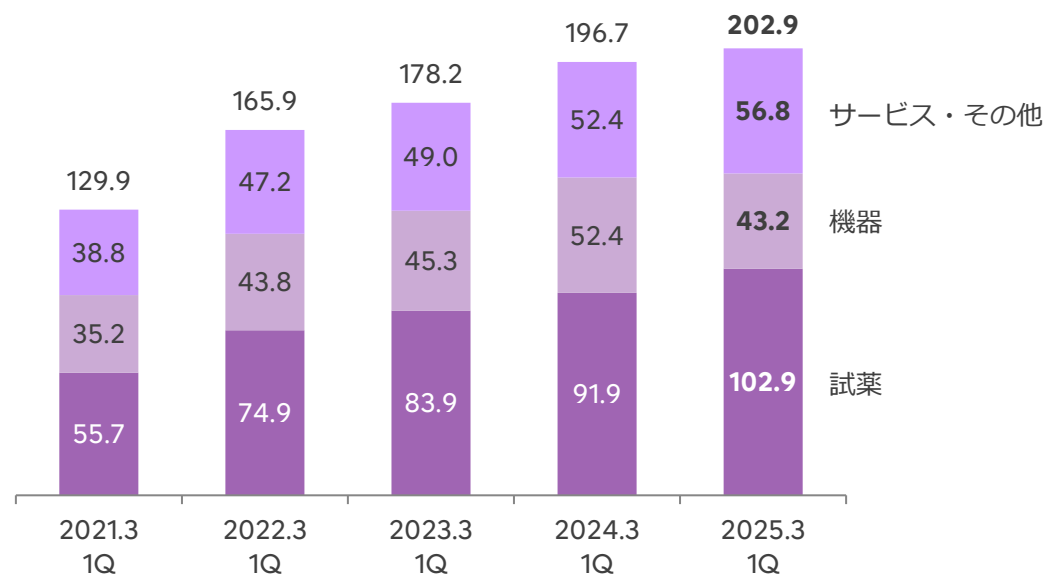
米州	・ ヘマトロジー・尿分野の試薬が2桁伸長し、増収を達成
EMEA	・ 直販化した地域の伸長などによりヘマトロジー試薬を中心に、2桁伸長し、増収を達成
中国	・ ヘマトロジー・免疫分野の試薬が2桁伸長し、増収を達成
AP	・ 各国のビジネスは好調に推移、機器・試薬ともに全分野において伸長し、2桁伸長を達成
日本	・ ダイアグノスティクス事業は前期の反動により横ばいも、メディカルロボット事業が伸長し、増収を達成



米州（地域別）

(Million USD)	2025年3月期 1Q	前年同期	前年同期比	
			現地通貨ベース	円ベース
売上高	202.9	196.7	103.2%	117.1%
機器	43.2	52.4	82.5%	93.6%
試薬	102.9	91.9	112.0%	127.0%
サービス・その他	56.8	52.4	108.6%	123.1%

売上高推移（Million USD）



前年同期の機器売上好調の影響があるも、機器設置台数増加に伴う試薬の伸長により、増収

● 機器

- ✓ 前年同期に、北米で好調であったヘマトロジー分野および中南米で大型案件があった尿分野の反動により、減収
- ✓ 北米の受注は引き続き多く、また中南米のヘマトロジー分野は今期1Qも伸長のため、2Q以降は回復見込み

● 試薬

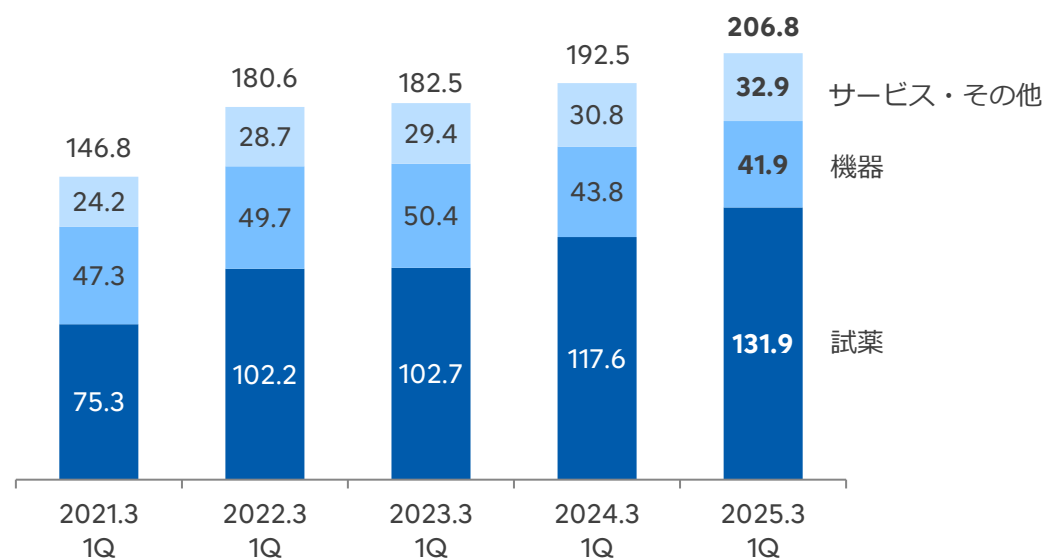
- ✓ ヘマトロジー・尿分野が好調に推移、2桁伸長を達成し、増収

EMEA（地域別）

※過年度データを含め、ロシアの売上高を除いています

(Million EUR)	2025年3月期 1Q	前年同期	前年同期比	
			現地通貨ベース	円ベース
売上高	206.8	192.5	107.4%	120.7%
機器	41.9	43.8	95.6%	107.4%
試薬	131.9	117.6	112.1%	125.9%
サービス・その他	32.9	30.8	106.8%	119.7%

売上高推移（Million EUR）



※過年度データを含め、ロシアの売上高を除いています

直販化したサウジアラビアなどにより、2桁伸長した試薬が機器減収を補い、増収

● 機器

- ✓ ヘマトロジー分野においてXRシリーズの販売開始などもあり、ドイツやイギリスで伸長
- ✓ イタリアの直販切替の影響などにより、横ばい

● 試薬

- ✓ 直販化したサウジアラビアなどが好調に推移
- ✓ ヘマトロジー・血液凝固・尿分野が2桁伸長し、増収

中国（地域別）

(Million CNY)	2025年3月期 1Q	前年同期	前年同期比	
			現地通貨ベース	円ベース
売上高	908.8	854.9	106.3%	116.7%
機器	97.8	126.9	77.1%	84.7%
試薬	720.9	646.3	111.6%	122.5%
サービス・その他	89.9	81.7	110.0%	121.0%

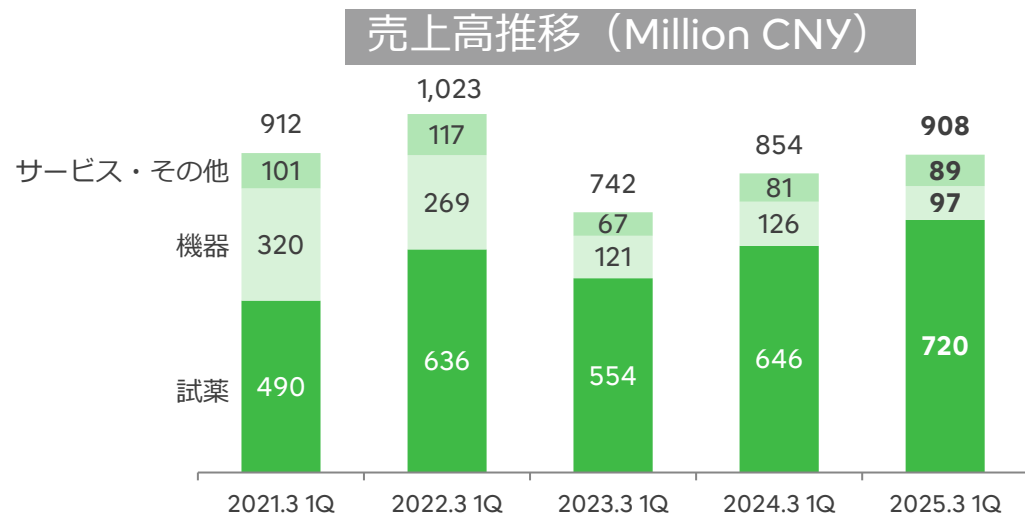
機器は血液凝固分野の出荷時期の影響により、減収も
ヘマトロジー分野の機器・試薬が好調に推移し、増収

● 機器

- ✓ ヘマトロジー分野において現地生産製品の販売が好調に推移し、2桁伸長
- ✓ 血液凝固分野は、CNシリーズ（現地生産製品）の出荷開始が6月となり、減収
- ✓ 2Q以降は、現地生産製品による売上回復を見込む

● 試薬

- ✓ 受診者の増加などもあり、ヘマトロジー分野や免疫分野が好調に推移、2桁伸長を達成し、増収



COVID-19による
機器需要増

政府調達方針強化の影響

COVID-19感染拡大
/ ロックダウン

前年下期から
ニューノーマル

売上変動に関わる外部要因の影響

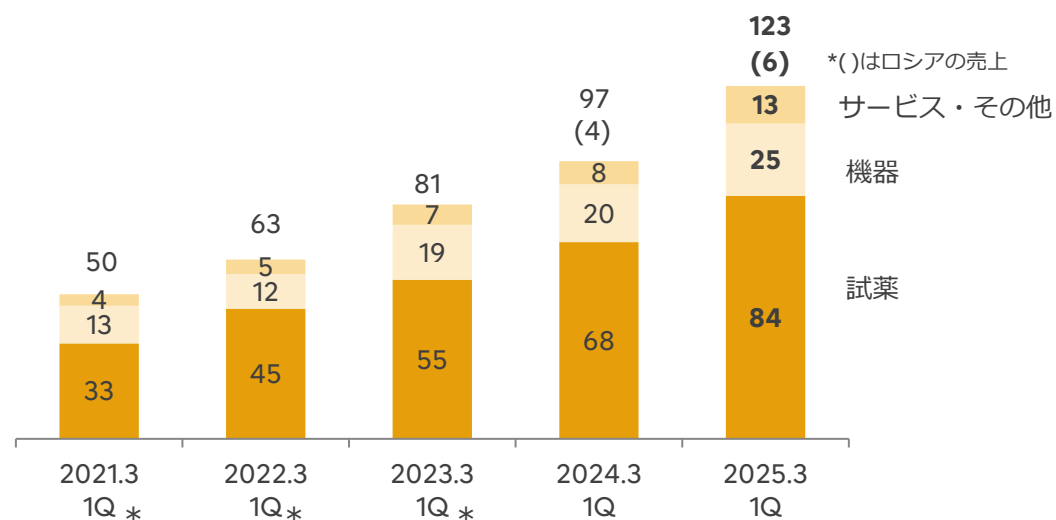
AP（地域別）

※ロシア売上高を含むデータへ変更

(億円)	2025年3月期 1Q	前年同期	前年同期比 円ベース
売上高	123.4	97.9	126.0% (117.3%)
機器	25.4	20.3	125.4%
試薬	84.0	68.7	122.4%
サービス・その他	13.8	8.9	155.3%

*()は為替の影響を除いた場合

売上高推移（億円）



* ロシア売上高を含まない

ロシア売上高を含む

医療インフラへの投資が継続しており、ヘマトロジー分野を中心に好調に推移し、2桁増収を達成

● 機器

- ✓ヘマトロジー分野においてインドやオーストラリアを中心に好調に推移し、2桁伸長
- ✓尿・血液凝固分野はインドやタイなどの東南アジア、免疫分野はフィリピンが好調に推移し、大幅伸長

● 試薬

- ✓ヘマトロジー分野においてインドや東南アジア、台湾が機器設置台数の増加に伴い、好調に推移
- ✓免疫分野は機器設置台数の増加やユニーク項目の採用拡大により大幅伸長するなど、全分野で増収

日本（地域別）

（億円）	2025年3月期 1Q	前年同期	前年同期比 円ベース
売上高	137.1	130.3	105.2%
ダイアグノスティクス事業	125.8	127.4	98.7%
機器	16.8	17.4	96.3%
試薬	86.9	88.5	98.2%
サービス・その他	22.0	21.4	102.7%
メディカルロボット事業	11.3	2.9	389.7%

ダイアグノスティクス事業は前年好調の影響もあり横ばいも、メディカルロボット事業の伸長により、増収

ダイアグノスティクス事業

● 機器

- ✓ ヘマトロジー分野は好調に推移し2桁伸長も、前年同期の尿分野・血液凝固分野の好調の影響により、横ばい

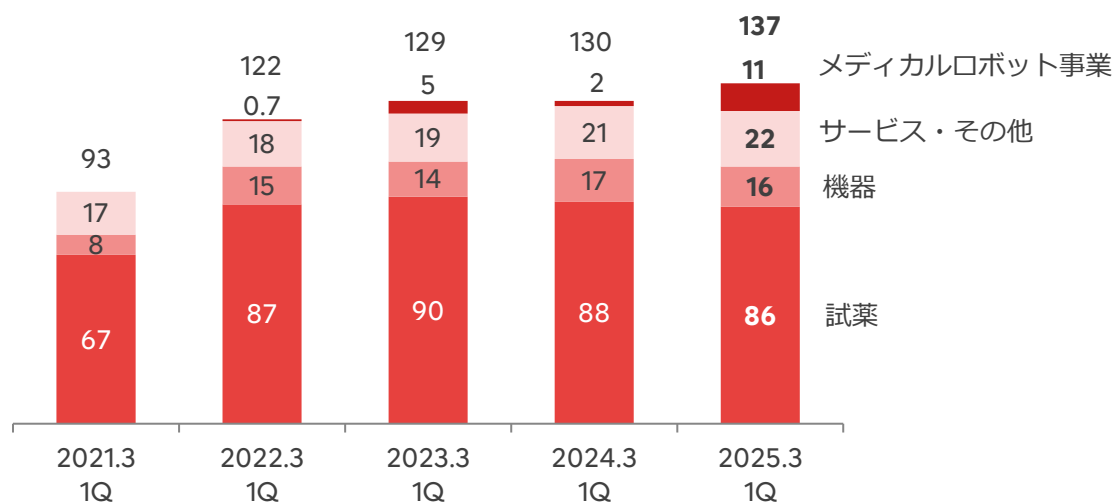
● 試薬

- ✓ 免疫分野で項目採用拡大による伸長も、横ばい

メディカルロボット事業

- ✓ 第1四半期導入台数：6台、累計台数：61台
- ✓ 導入台数および症例数の増加に伴い、サービス・消耗品（鉗子など）の売上が増加

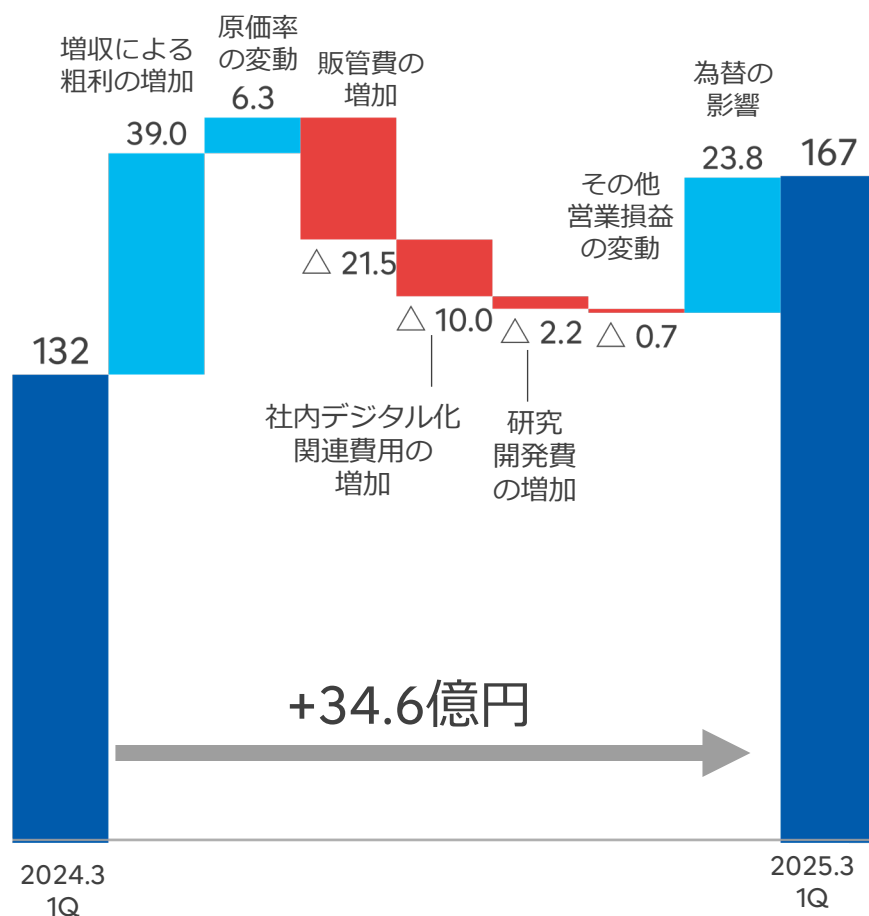
売上高推移（億円）



営業利益の増減要因

営業利益

(億円)



※下記数値・コメントは為替の影響を除く

- 増収による粗利の増加：+39.0億円
 - 原価率変動による影響：+6.3億円（0.6pt改善）
 - ✓ 改善要因：プロダクトミックス 0.4pt、製品等の原価改善 0.5pt
 - ✓ 悪化要因：サービスコスト 0.1pt
 - 販売管理費の増加：△21.5億円
 - ✓ 労務費：規模拡大に伴う人員増や単価増などによる増加：約13億円
 - ✓ 経費：規模拡大や販促活動による増加：約6億円
 - 社内デジタル化関連費用の増加：△10.0億円
 - 研究開発費の増加：△2.2億円
 - ✓ 製品開発への継続投資および薬事関連費用による増加
 - その他営業損益の変動：△0.7億円
-
- 為替の影響：+23.8億円

3. 成長戦略の進捗と取り組み

～ 新興国戦略・既存事業の強化・新規事業の拡大 ～

積極的に投資している地域を中心に2桁伸長を達成、高成長を継続

インド売上高推移 (億円)



ブラジル売上高推移 (Million USD)



中東・トルコ・アフリカ(META)売上高推移 (Million EUR)



■ インド新生産拠点が竣工、今期中の出荷開始に向けて稼働準備中



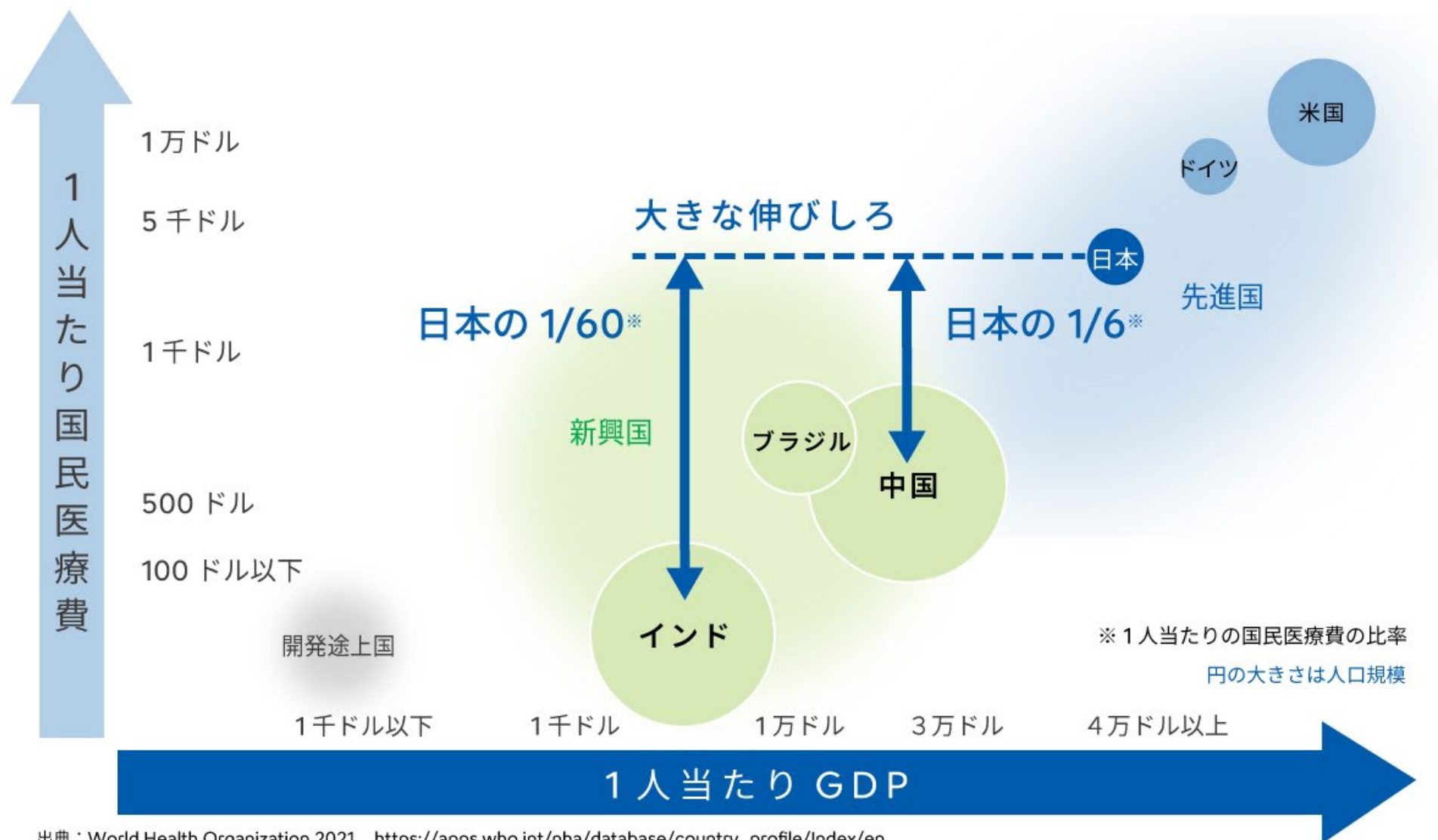
- ✓ 海外生産拠点では最大規模
- ✓ 機器・試薬の生産拠点としてインドでの事業展開を加速
- ✓ 倉庫・物流ハブ機能を有する

■ ブラジルの学会での様子



- ✓ 顧客の関心は非常に高く、展示ブースは盛況
- ✓ 顧客とのネットワーク強化により、さらなる事業伸長を目指す

参考：新興国市場のポテンシャル



出典：World Health Organization 2021 https://apps.who.int/nha/database/country_profile/Index/en

既存事業の強化（血液凝固分野）



ヘマトロジー分野で培った顧客満足度の高いサービスや販売チャネルを活かす

OEM契約への移行進捗

- ・ 米国、欧州にて2024年4月より自社ブランドでの販売を開始、新規顧客の獲得が進む
- ・ グループ2*の一部の国は、前倒しで販売を開始（スイスなど） *当初予定は2025年1月

顧客の声

ドイツ・ポーランドなどのご施設（他社から当社への切替含む）

*“The customers **trust the same excellence** that Sysmex has been known for in **Routine Haematology**”*

*“Great experience with Sysmex hematology systems and **high quality about Sysmex service**”*

*“Sysmex was the full panel of Siemens OEM reagents + the perspective of **the future Hyphen reagent roadmap**”*

各分野においてグローバルでの取り組みを着実に展開

ヘマトロジー分野

● XRシリーズ

- ✓ 日本：購入需要の90%超を獲得し、圧倒的な存在感
- ✓ EMEA・中国：今期より本格販売開始
- ✓ AP：オーストラリアに続き、タイ、マレーシア、インドネシアで販促開始

免疫分野

● アルツハイマー病検査

- ✓ 中国：香港で販売開始
- ✓ 日本：保険点数取得に向けた活動継続
- ✓ 米国：大手検査センター（Labcorp）LDTは堅調に推移
- ✓ EMEA：欧州での薬事承認取得、販売準備開始

ライフサイエンス

● QIAGEN社とのグローバルアライアンス

- ✓ 遺伝子検査領域における市場展開を、それぞれが強みを有する地域で協力
- ✓ 将来的には製品開発における協業も検討

シスメックスのグローバルネットワークラボにおいて、QIAGEN社が製薬および研究機関向けに展開する臨床試験検体測定をシスメックスが受託測定することで、QIAGEN社のグローバルサービスをサポート



新規事業の拡大（メディカルロボット事業）

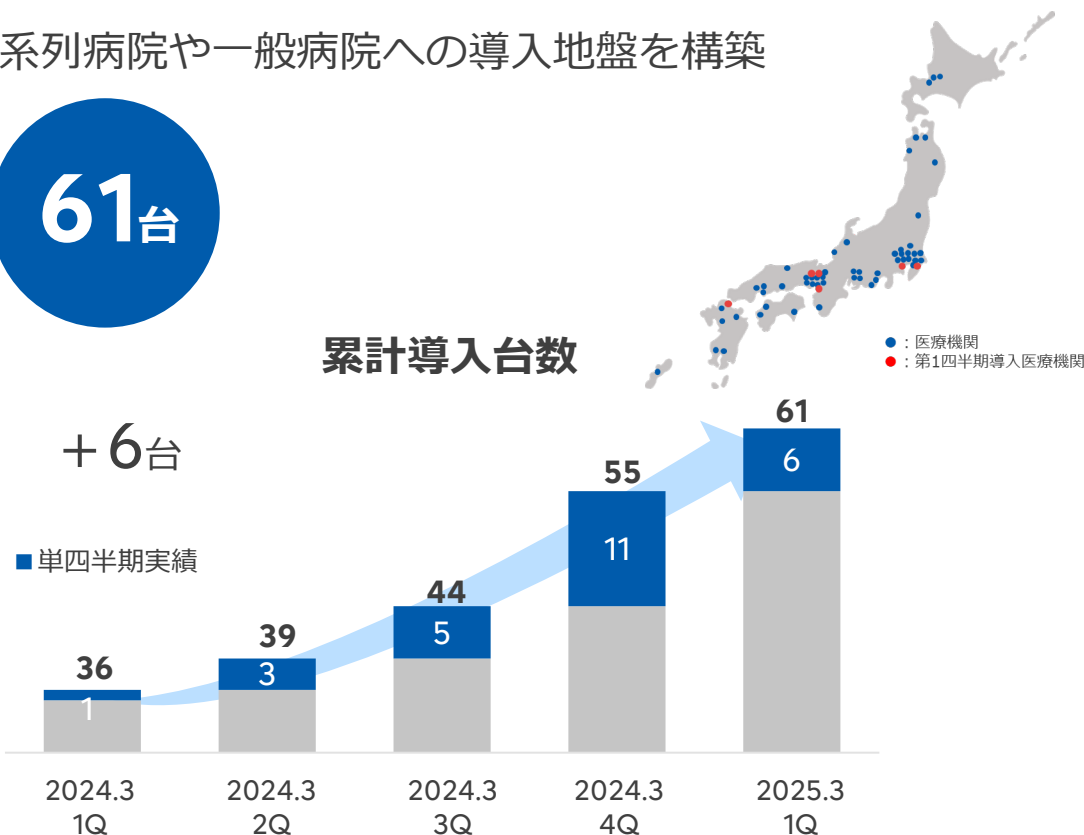
日本の導入地盤構築および海外市場への導入準備は着実に進捗

● hinotori™の導入状況

- ✓ 全国の大学病院、基幹病院への導入が着実に進み、系列病院や一般病院への導入地盤を構築

61台

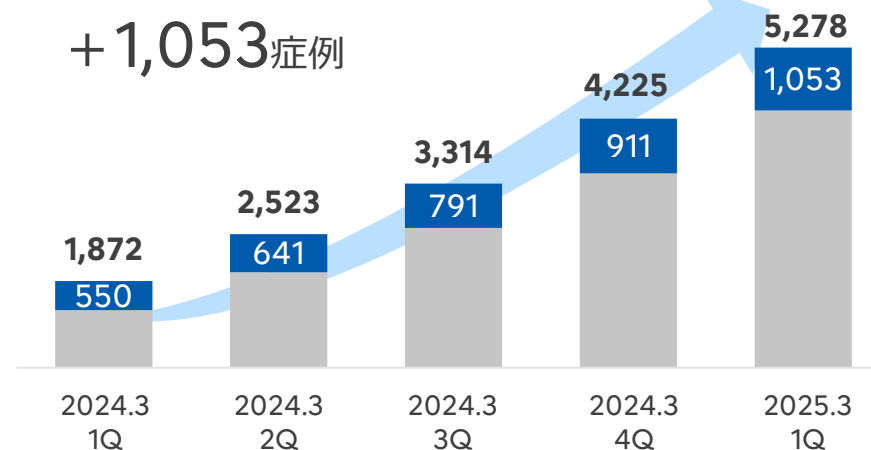
累計導入台数



● 海外展開計画

- ✓ 2024年3月期 シンガポールでの認可
- ✓ 2025年3月期 アジアへの展開、欧州への薬事申請
- ✓ 2026年3月期 欧州への市場参入、FDAへの薬事申請
- ✓ 2027年3月期 米州市場への参入開始

国内累積手術数推移



参考：トピックス（2024年4月～7月）

既存事業の強化

- 迅速薬剤感受性検査システム「PA-100 AST System」が英国最大の科学賞「Longitude Prize on AMR」を受賞（EMEA）
- 結腸・直腸がんにおける治療薬の選択の補助として使用可能な「OncoGuide™ EpiLight™メチル化検出キット」の国内製造販売承認を取得（日本）

新規事業の拡大

- 再生細胞医療向けの移植細胞の生着能や機能発現の指標となる分泌タンパク質の測定試薬（HISCL™）を販売開始（日本）
- 日本プロサッカーリーグに加盟する北海道コンサドーレ札幌が、コンパクト免疫装置の技術を応用したミオグロビン相当量測定サービスを導入（日本）

サステナビリティ

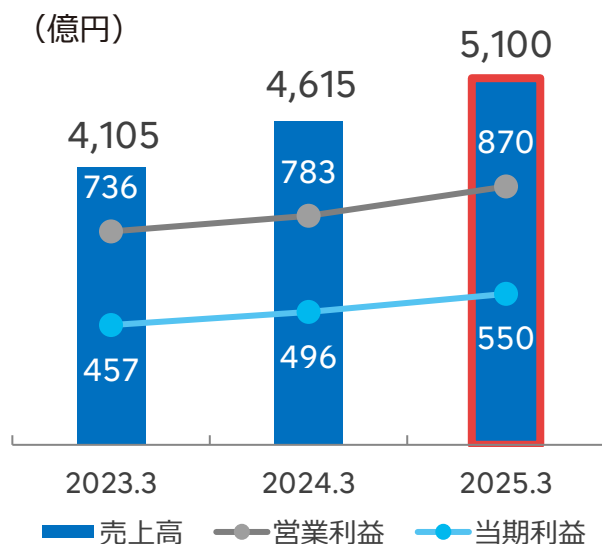
- 「Science Based Targets initiative（SBTi）」の認定を取得
- 米国TIME誌「World's Most Sustainable Companies of 2024」（世界で最もサステナブルな企業2024）に選定
- 「第11回ゼロマラリア賞」を受賞

4. 2025年3月期 業績予想

2025年3月期 業績予想 (2024年5月公表から変更なし)

(億円)	2025年3月期		2024年3月期		伸長率
	予想	構成比	実績	構成比	
売上高	5,100	100.0%	4,615.1	100.0%	+10.5%
売上原価	2,370	46.5%	2,190.1	47.5%	+8.2%
販売費及び一般管理費	1,519	29.8%	1,337.9	29.0%	+13.5%
研究開発費	350	6.9%	314.0	6.8%	+11.5%
営業利益	870	17.1%	783.8	17.0%	+11.0%
親会社の所有者に帰属する当期利益	550	10.8%	496.3	10.8%	+10.8%

投資計画	設備投資 500億円	減価償却費 400億円
------	------------	-------------



● 想定為替レート

	通期想定	前期実績 (24年3月期)
1 USD	147.0円	144.6円
1 EUR	158.0円	156.8円
1 CNY	20.4円	20.1円

● 為替感応度の概算値

	売上 (年間)	営業利益 (年間)
USD	8.0億円	1.4億円
EUR	5.5億円	1.0億円
CNY	57.5億円	42.1億円

● 売上高の伸長要因

- ✓ XRシリーズの上市効果（日本、EMEA、中国、AP）
- ✓ 血液凝固分野の直接販売開始（米州、EMEA）
- ✓ 米州：ヘマトロジー分野や中南米の伸長
- ✓ EMEA：直販化した地域の伸長
- ✓ 中国：現地生産移管した製品の拡販、検査需要の増加
- ✓ AP：インドを中心とした新興国の伸長
- ✓ 日本：手術支援ロボット（hinotori）の導入加速

● 原価率の改善要因

- ✓ 欧米での血液凝固試薬の販売開始
- ✓ 継続したコストダウン

● 販管費の増加要因

- ✓ 社内デジタル化や人的資本への投資
- ✓ 売上拡大に伴う費用の増加

● 営業利益の増加要因

- ✓ 増収や原価率低減による粗利益の増加

(補足資料)

2025年3月期業績予想（事業・分野別・地域別売上高）



事業・分野別売上高

（億円）

	2025年3月期	伸長率
ヘマトロジー	3,030	+10.2%
FCM検査	50	+50.7%
尿検査	425	+8.9%
血液凝固検査	825	+13.1%
免疫検査	250	+5.7%
生化学検査	35	+3.6%
ライフサイエンス	215	+ 4.8%
その他	210	+ 4.8%
ダイアグノスティクス事業	5,040	+ 10.1%
メディカルロボット事業	60	+ 60.2%
合計	5,100	+10.5%

地域別売上高

（億円）

	2025年3月期	伸長率
日本	665	+6.9%
米州	1,315	+10.7%
EMEA	1,370	+7.5%
中国	1,210	+10.0%
アジア・パシフィック	540	+25.3%

緑字：変更箇所

XRシリーズ（ヘマトロジー分野）導入スケジュール

※2024年5月から変更なし

- 日本 2022年7月よりXRシリーズを販売開始、機器の2桁伸長が続く
- EMEA 2023年7月よりXRシリーズおよび検体搬送システム商品群（BT-50など）を販売開始
- AP 2024年3月期3QよりXRシリーズを販売開始
- 中国 2024年3月期4QよりXRシリーズを販売開始
- 米州 BT-50 をXN™シリーズへの追加モジュールとして販売開始、XRシリーズは2025年3月期より販売開始予定



XRシリーズと検体搬送システムの接続イメージ

サステナビリティ目標 2024年3月期実績



・目標を「-」で表示している項目は、目標を設定しないモニタリング項目

健康社会への新たな価値創出

マテリアリティ	KPI	実績		目標
		2023年3月期	2024年3月期	2026年3月期
イノベーションを通じた医療課題解決	ヘマトロジー検査件数	2,977百万件	3,325百万件	-
	ヘマトロジー市場シェア※1	54.0%	53.0%	-
	手術支援ロボットによる症例数	1,323件	2,903件	-
	特許保有件数	3,832件	3,868件	-
	特許出願件数	257件	200件	-
	がんゲノム医療解析実施件数※2	1.7千件	1.6千件	-
	OSNA™法による乳がん患者検査数	52千件	52千件	-
医療アクセスの向上	新興国・開発途上国売上高	1,567億円	1,646億円	-

責任ある製品・サービス・ソリューションの提供

マテリアリティ	KPI	実績		目標
		2023年3月期	2024年3月期	2026年3月期
品質と信頼の追求	リコール件数※2	2件	2件	-
	FDA Warning Letter件数	0件	0件	-
サプライチェーンマネジメントの強化	CSR調査回答率（国内・海外一次サプライヤー）	94%	95%	90%
	サプライヤー（国内）に対するトレーニング件数※3	5件	6件	5件
	サプライヤー（国内一次）第三者認証取得率※3	86%	88%	-

※1 出所：Clearstateおよび当社推計 ※2 対象：国内グループ会社 ※3 対象：シスメックス株式会社単体

サステナビリティ目標 2024年3月期実績



- ・2024年3月期実績は速報値
- ・目標を「－」で表示している項目は、目標を設定しないモニタリング項目

環境への負荷低減

マテリアリティ	KPI	実績		目標
		2023年3月期	2024年3月期	2026年3月期
製品ライフサイクルにおける資源循環	プロダクトロスのゼロ化	-	0.40%	0.18%
	リサイクル・環境配慮材料への完全代替	-	43%	60%
	GHG排出量削減率（スコープ3）※1	-	4%削減	10%削減
	包装用資材削減率※2	7%削減	9%削減	—
事業活動における環境負荷低減	GHG排出量削減率（スコープ1,2）※1	-	30%削減	40%削減
	再生可能エネルギー比率	-	63%	75%
	一人あたりエネルギー使用量削減率※1	-	11%削減	3%削減
	水消費量削減率（主要試薬工場）※1	-	2pt増加	23pt削減
	総廃棄物量削減率※1	27%削減	31%削減	5%削減
	製商品廃棄額対売上高比率	0.5%	0.4%	—

GHG排出量 スコープ1：企業の施設や工場、社用車から直接排出される温室効果ガス
 GHG排出量 スコープ2：エネルギーの使用に伴う、企業から間接排出される温室効果ガス
 GHG排出量 スコープ3：商品・サービスに関わる企業群（サプライチェーン）全体から排出される温室効果ガス

※1：基準年度2022年度 ※2：基準年度2019年度

サステナビリティ目標 2024年3月期実績



・目標を「-」で表示している項目は、目標を設定しないモニタリング項目

ガバナンスの強化

マテリアリティ	KPI	実績		目標
		2023年3月期	2024年3月期	2026年3月期
コーポレート・ガバナンス	投資家アナリストミーティング数※2	597社	723社	-
コンプライアンス	内部通報件数	21件	26件	-
	倫理違反件数	9件	15件	-
リスクマネジメント	情報リテラシー教育受講者数※1	4,900名	11,097名	-
	災害対応訓練参加率※1	99.4%	99.4%	-

※1 対象：国内グループ会社 ※2 対象：シスメックス株式会社単体

サステナビリティ目標 2024年3月期実績



・目標を「－」で表示している項目は、目標を設定しないモニタリング項目

魅力ある職場の実現

マテリアリティ	KPI	実績		目標
		2023年3月期	2024年3月期	2026年3月期
エンゲージメントの向上	エンゲージメントスコア	71%	75%	75%
	離職率	8.4%	7.7%	10%以下
	自発的離職率	6.8%	5.6%	－
	育児休業からの復帰率※2	100%	99%	－
	男性育児休業取得率※2	62%	61%	65%以上
ダイバーシティ、エクイティ & インクルージョンの推進	女性マネジメント比率	19.5%（ロシア除く）	19.2%	20%以上
	女性次世代マネジメント比率	32.1%	34.0%	－
	女性従業員比率	41.8%	41.5%	－
	管理専門職層の中途採用者比率※2	41.7%	39.8%	－
	採用者の男女比率（新卒、中途）※2	新卒：35.9% 中途：27.0%	新卒：45.2% 中途：25.8%	－
	経営層の女性比率、外国籍比率※2	女性：8.3% 外国籍：16.7%	女性：8.3% 外国籍：16.7%	－
	経営層の女性比率	9.4%	13.5%	－
	管理専門職層の賃金格差(総報酬額)(女性:男性)※2	93.0%	94.0%	－
	一般社員層の賃金格差(総報酬額)(女性:男性)※2	80.0%	82.1%	－
	障がい者雇用率※1	2.31%	2.38%	2.65%以上

※1 対象：国内グループ会社 ※2 対象：シスメックス株式会社単体

サステナビリティ目標 2024年3月期実績



・目標を「－」で表示している項目は、目標を設定しないモニタリング項目

魅力ある職場の実現

マテリアリティ	KPI	実績		目標
		2023年3月期	2024年3月期	2026年3月期
人材の育成	平均教育時間	30.0時間	24.4時間	40.0時間
	付加価値生産性（単体）※2	13,230円	14,760円	－
	付加価値生産性（グループ）	1,874万円	1,997万円	2,250万円
	人材育成投資（単体）※2	2.66億円	2.41億円	2.52億円
	人材育成投資（グループ）	3.56億円	3.69億円	－
	研修への参加率（単体）※2	100%	100%	90%以上
	研修への参加率（グループ）	100%	97%	－
	サクセッションプラン有効率※2	100%	100%	－
	サクセッション・カバレッジ率※2	218.9%	311.0%	－
健康増進と労働安全の推進	年間総労働時間※1	2,022時間	2,017時間	1,980時間
	有給休暇取得率※1	66.5%	74.6%	75%以上
	労働災害度数率※1	0.81	0.78	0.5未満
	労働災害強度率※1	0.05	0.07	0.05未満

※1 対象：国内グループ会社 ※2 対象：シスメックス株式会社単体



Together for a better
healthcare journey